



浜っこだより

浜原
隣保館

TEL: 75-0340

令和6年9月13日発行 ☆№6☆



お茶女の会（研修）



【8月27日(火)】DVD「芸能と差別—文化を生み育てた人々—」を見て研修しました。このDVDで、日本の伝統的な芸能が、いかに差別を乗り越えて現在まで継承されているかを学びました。
(感想)

- ❖ 箱廻しの方々もDVDに出られていて、またあの日の感動がよみがえりました。
- ❖ いわれのない差別をはねのける力を見習いたいです。

❖ 昔から伝えられ、見たり聞いたりした芸能の文化にも、差別があったことを初めて知りました。良い機会に勉強させてもらいました。

人権・同和教育研修会



(邑智小・中職員、隣保館職員合同研修会)

【8月5日(月)】講師に北尾浩之さん(県人権啓発推進センター 啓発指導講師)をお迎えしました。「同和問題の解決を展望する～同和問題の今を通して～」という演題で話をしていただき、グループディスカッション(感想、人権・同和教育について)等を行いました。
(感想)

♪「同和問題の解決に何が必要か」を考えて深く掘り下げていかないと奥にある偏見に気づかないと感じました。



【講師：北尾浩之さん】

相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。
隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』
お気軽にご相談ください。

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。
詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

いろは
倶楽部
10月23日(水)
13:30～15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽

人権啓発講座

～ ちろうて気づき ～

8月は、「マイクロアグレッション」について話をしました。

「マイクロアグレッション」とは、何気ない日常の中で行われる言動に現れる偏見や差別に基づく、見下しや侮辱、否定的な態度のことだそうです。意図的でないことも多いが、「小さな攻撃性」とも言われ、海外では長らく問題視されているらしい。
(アイユ7月号掲載
「第42回全国中学生人権作文コンテスト」より)

「マイクロアグレッション」は聞きなれない言葉ですが、この中学生の作文を読み、感じたことを話し合いました。
(感想)

- ★ 中学生の作文ですか？
すごいですね。じっくり読んでみます。
- ★ 何気なく言った言葉を振り返って考えてみようと思いました。



… 人権コラム …



3回シリーズ

サイドストーリー ～同和問題～その2

前回、「同和」単体だと、差別用語になりますとお伝えしましたが、それはなぜなのか？
それは「同和」単体だと「同胞融和主義」の事をさすからです。

「同胞融和主義」とは、被差別部落に生まれたことをマイナスに捉え、出身を隠して生きること、差別されないように本人が努力すること、これが同胞融和主義の考え方です。つまり、差別は差別される側の問題だとする主義です。

ですから、意味が分かっている方からすると、とても不快感を覚えることになります。生まれた地域、親やその祖先、配偶者まで否定されたような感覚になる、
たとえば想像がつくでしょうか。
お話をされる際は「同和問題」、「同和教育」という形で話されるようお願いします。

※次回最終回、「同和」と「同和問題」は違うの？

10月の予定

- | | |
|----------------|---------------|
| 1(火) スマホ教室(星組) | 23(水) いろは倶楽部 |
| 4(金) カラオケ教室 | 25(金) 古文書教室 |
| 10(木) 俳句教室 | 28(月) お元気体操教室 |
| 17(木) スマホ教室(月) | |

